

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水稻が主体の平場農業地域
- 高齢化や後継者不足、農地の集積・集約の遅れがあり、農業後継者の確保や担い手の育成が課題。

【支援内容・背景】

- 高齢化の進展に伴い、離農する農家の農地等の受け手となる担い手の経営規模拡大の取組を支援する必要。
- 助成対象者は地区内で水稻と大豆の複合経営を営む者であり、離農する農家の農地を引き受けつつ経営面積を拡大。大豆を大豆菓子に加工して販売する取組も実践。地区の複合経営の経営発展の取組モデルとして支援。



助成対象者「(株)萩原農園」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成28年 経営移譲
- 平成29年 農業経営改善計画認定
- 平成30年 法人化(株式会社)

《事業活用の背景》

- 経営面積の拡大を図るためには、作業の効率化、省力化が必要。
- 高性能機械の導入により、刈り取り、調製作業等の効率化、省力化を図り、水稻等の作付面積の拡大を図る。

【事業実施時の状況】
〈R3年度〉

- 売上高 31百万円
- 経営面積 23.6.ha

《事業による整備内容》

- コンバイン 1台
- 色彩選別機 1台
- 糶摺機 1台
- 事業費 10,439千円
(国費 2,847千円)



【現在の経営状況】
〈R5年度〉

- 売上高 37百万円 (119%)
- 経営面積 26.0ha (110%)

事業の
効果

《対象者》 作業の効率化、省力化が図られ、経営面積の拡大と高品質な米の生産が実現。

《地区》 水稻等の効率的な生産体制と地域の農地の受け皿となる法人の経営基盤の強化が図られ、担い手への農地集積が加速。